

令和 かわら版 諏訪形

第30号
諏訪形自治会
会長 水石 康

諏訪形自治会 令和七年度 自治会通常総会が開催されました

一月二十六日（日）午後、本年度の諏訪形自治会通常総会が開かれました。当日は寒い中、百人を超える皆さんにお集まりいただきました。

水石康新自治会長から自治会長あいさつと今年度の新協議員の紹介がありました。

【水石自治会長のあいさつ】

皆さんこんにちは。本日は令和七年度諏訪形自治会通常総会にお集まりいただき、ありがとうございます。

今年自治会長を務めさせていただきます、水石康です。九ブロック八隣組です。思えば十二年前にあの大雪の中（七十センチほど）自治会協議員の総務部長を務めました。最初は、何から、何をどうやっていいのかわからない状況の中、協議員、会員の皆様に助けて頂き何とか務めたことを思い出しました。

昔と今では状況が大分変化しており、行事、イベントなどがなくなったり、また新しい行事や設備（パソコン）が増えたりと変化しているのがわかります。時代とともに大きく変化することに慣れて、皆様と一緒に努めたいと思います。

諏訪形自治会通常総会

昨年の暮れから新年にかけまして、今年一年どうやっていこうかと考える日が多くなり悩みましたが、自治会運営とは一人では何もできません。また、一人でやる時代は終わりました。皆様のご協力が必要です。「明るく、楽しい 住みやすい 諏訪形」を継承して、感謝の気持ちを大切に、頑張っていきたいと思ひます。一年間よろしくお願いいたします。



その後、昨年度の山越敏雄自治会長の「会員の皆さん、ご協力ありがとうございました。精一杯取り組みことができました。後は水石新会長に託します」という退任あいさつに続いて、昨年度の事業報告と会計報告が行われました。なお、山越前自治会長には今年二月から、社会福祉協議会長をお務めいただきます。

まず諏訪形誌活柳澤委員長から、昨年一年間の活動報告と現在編纂が進んでいる「諏訪形誌を歩く ―続・諏訪形誌―」について、紹介がありました。Webでの出版も含めて、出版方法については、今後の検討課題となります。諏訪形誌活用委員会は本年末で活動を終了する予定です。なお、「諏訪形誌を歩く」のサンプル版はしばらくの間公民館に展示しておく、とのことです。手に取ってみてください。



西條社会福祉協議会長からは、地域の皆さんの交流の場としての「ふれあいお茶会」について、実施回数を五回に増やして交流を深めることができたという報告がありました。昨年「ふれあいお茶会」への参加者はのべ一五三人、一回平均三十人、四十人だったとのこと。また、上田市社会福祉協議会の「フードドライブ」への協力要請もありました。

小林諏訪形防犯・防災協議会長からは、「災害は忘れたころにやってくる」というが、このころは忘れないうちになってくるので、日ごろの備えが重要ということで、「備えあれば憂いなし」の気持ちで今後も活動していきたい、という話がありました。特に、金窓寺沈砂池の管理について、昨年ものべ二十二名の皆さんが出勤して水害を未然に防いだという報告がありました。



宮下諏訪形まちづくり協議会長からは、「三協議会などを設置して活動の継続性を重視しているのは上田市でも諏訪形自治会だけ」という紹介の後、県道上田塩川線（須川線）の拡幅整備や諏訪形地域内の道路整備などの現状、東山の太陽光発電施設の問題についてなど話がありました。また、城下駅から公民館前を通ってカンカン石に抜ける道路の安全対策についても成果を上げてきている、との報告がありました。

窪田大型生ごみ処理機運営管理委員長からは五年間の事業についての報告がありました。この五年間で投入された生ごみの総量は十一・六トンあまり、その生ごみから作られた肥料一・五トン近くが会員に配布されたということです。以前のかわら版でもお知らせしましたが、この事業は本年も継続されます。たくさんの方の皆さん、ご参加下さい。

問い合わせ・申込先 窪田 和人 さん

090-7005-9991

事業報告と会計報告が承認された後、水石自治会長の活動方針と本年度の活動計画、予算案が審議されました。

【令和七年度諏訪形自治会活動方針】

昨年までと変わったところを中心に発表させていただきます。その他につきましては、議案書資料に書いてありますので参照してください。要点のみ発表させていただきます。

伊那市、真田との交流会は毎年交互で行っており、今年は伊那市諏訪形区にはお招きいただく方となり、真田自治会とはこちらに招待することになります。

その他の行事等につきましては概ね、昨年同様実施していきたいと思ひます。ご協力をよろしくお願いいたします。

参加者の皆さんから貴重なご意見やアドバイスもいただきました。これらは本年の自治会活動に活かしていく所存です。

提案させていただいた議題はすべて可決されました。議案書は回覧いたしますので、ご確認ください。また総会終了後、隣組長の皆さんにはお残りいただき、活動の打ち合わせや自治会費の集金についての連絡などがありました。

このようにして、今年度の諏訪形自治会の活動がスタートを切りました。自治会員の皆さん、本年もご協力のほどをよろしくお願いいたします。

なお、防犯灯の老朽化が目につくようになってきて、あちこち調子の悪いものが出てきているようです。自治会役員も点検作業を行いますが、お気づきのことがありましたら各ブロック協議員までお知らせ下さい。

除雪機の運転講習と試運転を行いました

水石自治会長が総会のあいさつの中でも触れられていましたが、十二年前の大雪はたいへんでしたよね。ちょっと忘れかけておられる方もいらっしゃるでしょうか？

その次の年、諏訪形自治会では上田市の補助をいただいて、除雪機を二台購入しました。公民館向かい側の消防庫に保管してあります。幸いなことにあの年以来、災害級の大雪に見舞われることはありませんでしたが、自治会役員を中心にいつでも除雪機を活用できるように、毎年講習会を実施しています。また、それほどの大雪ではなくても、小学生の通学が安全にできるようにと、地域のボランティアの方が歩道の雪かきをして下さっています。必要に応じて、自治会協議員が公民館駐車場などの雪かきも行っています。



今年も一月二十六日の資源回収後、除雪機の試運転と取り扱い講習を実施しました。講師は諏訪形自治会顧問で総務情報部員の窪田和人さんをお願いし、水石自治会長、伊藤副自治会長のほか、ご自宅が比較的公民館に近い協議員の皆さん六人が参加しました。今年の冬も除雪機が活躍するようないないといと良いのですが…。安心・安全な地域づくりに向けて「備えあれば憂いなし」です。

自治会では、ホンダ除雪機HS760とHS1170を所有しております。
取扱いの説明がインターネットにも掲載されておりますので、参考までに掲載先をご紹介します。

HONDA

除雪機
HS760・HS970・HS1170
取扱説明書

https://www.honda.co.jp/ownersmanual/pdf/power/snow/30767719_web.pdf



かてりやの会の皆さんが

公民館の清掃を行って下さいました

諏訪形自治会では、公民館を定期的に利用している団体の皆さんには交代で月に一回、公民館の清掃をお願いしています。

一月十七日には「かてりやの会」の皆さんが公民館の清掃を実施して下さいました。冬晴れで気温は低めの日でしたが、大広間の床やお勝手、下駄箱の棚などとてもきれいにしてくださいました。間もなく定期総会を迎える時期、ありがとうございました。

これから月替わりで各団体の皆さんや当番プロジェクトの皆さんにも清掃をお願いします。よろしくお願いします。



捨てればゴミ・集めれば資源

資源回収にご協力下さい

一月二十六日(日)、小雪のちらつく寒い中でしたが、本年第一回目の資源物回収が行われました。諏訪形自治会では、協議員と生活環境部員の皆さんを中心に、自治会内三ヶ所(公民館北駐車場・諏訪神社参道東入口付近・荒神宮北側の堤防道路交差点付近)で資源回収を行っています。毎月一回、基本的には最終日曜日です(若干の揺らぎがあります。詳しくは上田市や自治会からのお知らせをご覧ください)。



資源回収が環境美化資源保護に結びつくことはもちろんですが、回収実績に応じて上田市から自治会へ交付金が支払われます。昨年は一年間で約九万円が自治会の収入となりました。

「捨てればゴミ・集めれば資源」です。ちょっとズクはいりますが、ご協力をよろしくお願いします。

諏訪形防犯・防災協議会の活動

― 地域の皆さんの安全・安心のための活動 ―

一月二十五日(日)、昨年の十一月二日の台風による大雨に対応して、金窓寺川周辺と調整池と下流にある深町橋の柵に引っかかるゴミの除去を行いました。この時使用した土のうや除去したゴミはまだ濡れていたため、乾燥させていましたが、作業しやすい状態になったので片づけを行いました。ゴミは市に収集依頼をし、土のうはまたいつでも対応できるように水門の外側一か所にまとめて整理しました。作業終了後、水門のゴミ除去も併せて行いました。小林防犯・防災会長、森山金窓寺川排水施設管理者ご苦労様でした。



こんな感じになりました



投稿：自治会長 水石康さん

いじわるいぜんと「ごうごう」じゃなごうごう。

一月も終わりの近い寒い日の夕暮れ近く、小学生と思われる男の子が二人、我が家の近くの用水で何か探っていました。子どもは元気だな、でもこの寒い中、今ごろ何を探っているんだろう、と不思議に思っ「何を探っているの?」と声をかけました。そこで子どもたちが見せてくれたのはカニでも貝でも魚でもなく、なんと、タバコの吸い殻!



この用水の上流でタバコのポイ捨てをしている大人の誰かには、それを下流で小学生が拾っているなんて、まったく想像もできないことなのでしょう。「進んで美化活動をする良い子どもたちだな」という話ではないですよ。